

# 交付運用報告書

## USバイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信／海外／株式

第8期(決算日:2025年2月10日)

作成対象期間:2024年2月10日~2025年2月10日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「USバイオ・ベンチャー(限定追加型)」は、2025年2月10日に第8期決算を行いました。

ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、中長期的に高成長が見込まれる米国の金融商品取引所に上場する中小型バイオ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



バイビュー・アセット・マネジメント株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町29-1 番町ハウス

www.bayview.co.jp

当運用報告書に関するお問い合わせ先:営業部

電話番号 03-5210-3573

受付時間:営業日の9:00~17:00

### 第8期末(2025年2月10日)

基準価額	8,084円
------	--------

純資産総額	735百万円
-------	--------

### 第8期(2024年2月10日~2025年2月10日)

騰落率	△24.2%
-----	--------

分配金合計	0円
-------	----

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### その他の記述

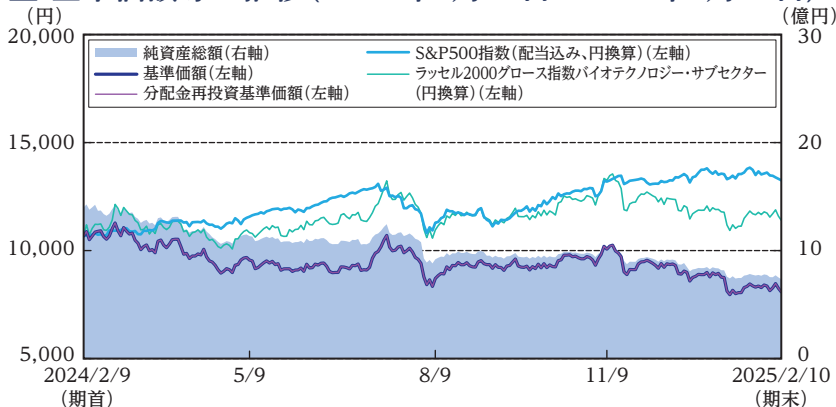
- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、バイビュー・アセット・マネジメント株式会社のホームページで閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URL「ファンド情報」からファンド名を選択し「月次レポート／運用報告書」を選択することにより、閲覧およびダウンロードすることができます。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移 (2024年2月10日～2025年2月10日)



第 8 期 首	10,671円
第 8 期 末	8,084円
既 払 分 配 金	0円
騰 落 率 (分配金再投資ベース)	△24.2%

- (注1) 上記の基準価額の推移は、当ファンドの信託報酬及び実績報酬控除後の価額を用いて計算しております。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 当ファンドは、S&P500指数(配当込み、円換算)及びラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)を参考指数とし、上記のグラフは期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化したものです。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの基準価額は、-24.2%となりました。当期は生成AIブームを追い風に「マグニフィセント・セブン」に代表される大型ハイテック株主導で株式市場が上昇した環境下、小型バイオ株は大手製薬会社によるM&Aが前期と比べて低調だったこと、長期金利の高止まりで割高感が意識されバリュエーションが調整したこと、更にはトランプ新大統領の直接的な政策ターゲットではないため投資家の注目が薄れたこと等から全般的に厳しい展開となりました。

そうした中、当ファンドにおいては臨床試験データが市場期待に届かなかったことや、販売承認申請の棄却等の材料で保有比率上位から中位の銘柄を中心に大きく値を下げ、パフォーマンスの低迷を余儀なくされています。最終的に、「マグニフィセント・セブン」に牽引されたS&P500指数(配当込み、円換算)に大きく劣後するとともに、特定の指数構成銘柄(当ファンドでは非保有)の大幅な上昇に下支えされた小型バイオ株の代表的な株価指数であるラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)も顕著に下回る結果となりました。

### <プラス要因>

進行性固形がんに対する治療薬「RMC-9805」の良好な臨床試験データを発表したレボリューション・メディシNZ、31価肺炎球菌(肺炎等の呼吸器感染症や全身性感染症を引き起こす球菌)結合型ワクチン「VAX-31」のフェーズ1/2臨床試験を成功裏に終えたバクサイト、大手製薬会社によるM&Aに合意したアルパイン・イミュン・サイエンシズ及びモルフィック・ホールディングが値を上げ、基準価額のプラス要因となっています。

### <マイナス要因>

肥満症治療薬の開発を巡る大手製薬会社との競争激化が懸念されたバイキング・セラピューティクス、欧州において萎縮型加齢黄斑変性(加齢に伴い網膜色素上皮が萎縮して視力が徐々に低下する疾患)の治療薬「SYFOVRE™」の販売承認申請が棄却されたアペリス・ファーマシューティカルズ、市場参加者の間でCAR-T療法(T細胞に遺伝子改変を行いがん細胞への攻撃性を高める治療法)を免疫疾患に適用する試みについて長期的な有効性と安全性への疑念が広がり売り優勢となったカバレッタ・バイオ、同種のアプローチで競合企業が開発を進める肥満症治療薬の副作用が確認されたことを受け警戒感から売りが先行したコーパス・ファーマシューティカルズ・ホールディングス、臨床試験結果が市場参加者の期待に届かなかったグリットストーン・バイオ等が保有期間中に下落し、基準価額のマイナス要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2024年2月10日～2025年2月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( (うち成功報酬) ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	203円 ( 125 ) (( 0 )) ( 73 ) ( 5 )	2.151 % ( 1.324 ) ((0.000)) ( 0.772 ) ( 0.055 )	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 +成功報酬額 ファンドの運用、基準価額の算出等の対価 運用実績に応じて投信会社に支払われる対価 運用報告書類の送付、口座管理、情報提供等の 対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	21 ( 21 )	0.224 ( 0.224 )	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 保 管 振 替 費 用 ) ( そ の 他 )	15 ( 8 ) ( 1 ) ( 6 ) ( 0 )	0.163 ( 0.083 ) ( 0.015 ) ( 0.065 ) ( 0.000 )	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均 受益権口数 海外保管銀行等に支払う保管・送金・資産の移転 等に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 保管振替機構に支払う投資信託受益権の管理 手数料 金銭信託手数料等
合 計	239	2.538	

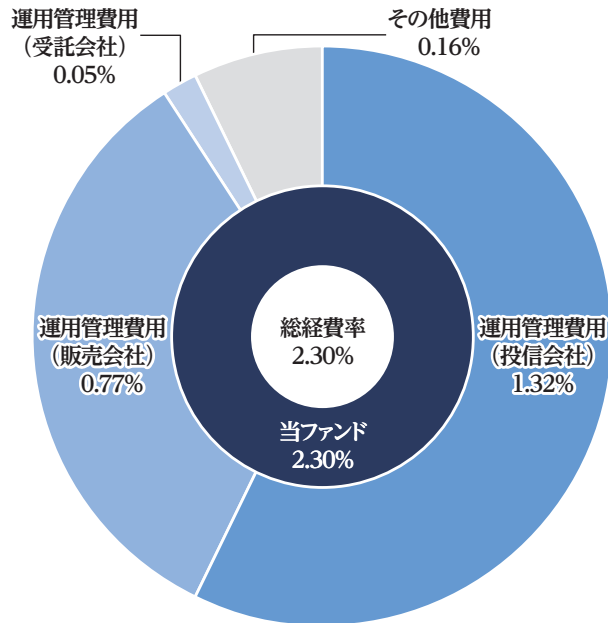
期中の平均基準価額は9,453円です。

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しております。  
(注3) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注4) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しております。  
(注5) 成功報酬は、ハイ・ウォーター・マーク超過分の11%(税抜き10%)。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.30%です。



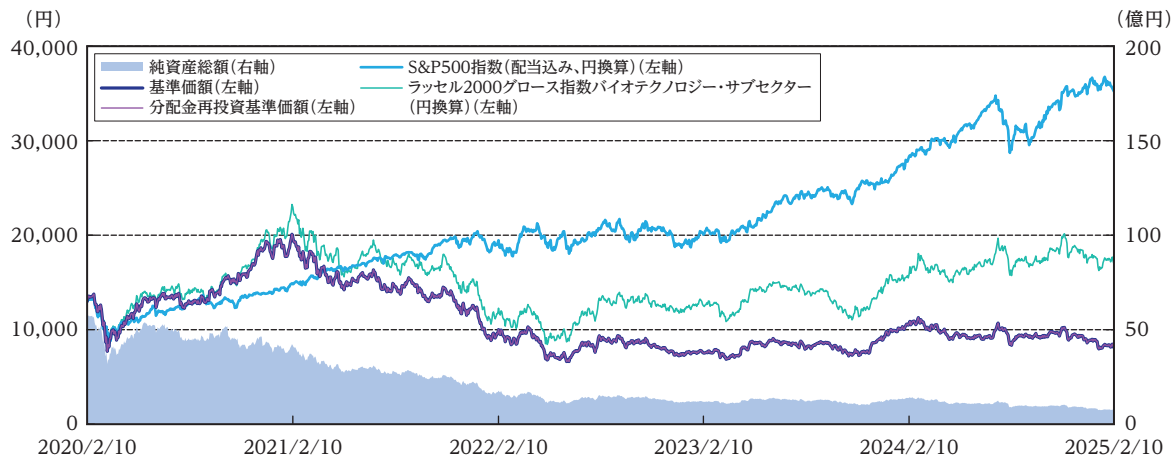
(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出した結果です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2020年2月10日~2025年2月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客様の損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、S&P500指数(配当込み、円換算)及びラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)は、2020年2月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

項 目	2020/2/10 決算日	2021/2/9 決算日	2022/2/9 決算日	2023/2/9 決算日	2024/2/9 決算日	2025/2/10 決算日
基準価額(円)	12,972	20,102	9,555	7,591	10,671	8,084
期間分配金合計(税込み)(円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	55.0	△52.5	△20.6	40.6	△24.2
S&P500指数(配当込み、円換算)(%)	—	14.9	28.7	5.5	40.1	24.2
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー・サブセクター (円換算)(%)	—	79.2	△49.7	8.3	25.3	6.8
純資産総額(百万円)	5,508	4,233	1,690	1,191	1,399	735

(注) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。S&P500指数(配当込み、円換算)及びラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)は参考指数です。

## ■ 投資環境

当期の米国株式市場では、S&P500指数(配当込み、ドルベース)が+22.2%、ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(ドルベース)は+5.1%と上昇しています。為替が1.6%の円安ドル高となり、S&P500指数(配当込み、円換算)は+24.2%、ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)は+6.8%となりました。

期中の動向を振り返ると、期首から4月中旬にかけては主要ハイテク企業の好決算やパウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長のハト派的な議会証言が好感された一方、イスラエルによる在シリア・イラン大使館の爆撃やインフレ再燃への警戒感からリスク回避の動きが強まり、株式市場は下落しています。但し、4月下旬に入りイスラエル及びイラン両国が戦闘の本格化を避ける姿勢を見せると安心感から株式市場は反発、更に経済指標の弱含みを受けてFRBによる利下げ期待が膨らんだことから上昇基調で推移しました。7月にバイデン政権による新たな対中半導体輸出規制の導入検討が報じられ、8月初に公表された雇用統計で失業率が悪化するなど悪材料が重なり株式市場は一時大幅安となりますが、9月FOMC(連邦公開市場委員会)での利下げを織り込む形で買い戻し優勢の展開となり、実際に利下げが実施されると再び上昇トレンドに回帰します。11月には米国第一主義を掲げる共和党候補のトランプ氏が大統領選挙で勝利したことで続伸するも、年明け以降は関税政策を巡って警戒感が強まり上値の重い展開が続きました。

そうした環境下、小型バイオ企業は主要ハイテク企業の軟調な決算内容を受けて相対的に中小型株への資金シフトがみられた7月に大幅高となり、11月の大統領選挙までは市場センチメントの改善につれて徐々に下値を切り上げたものの、12月以降はインフレ懸念から長期金利が上昇したため期末にかけて上げ幅を縮小しています。

## ■ ポートフォリオについて

### ● 当ファンド

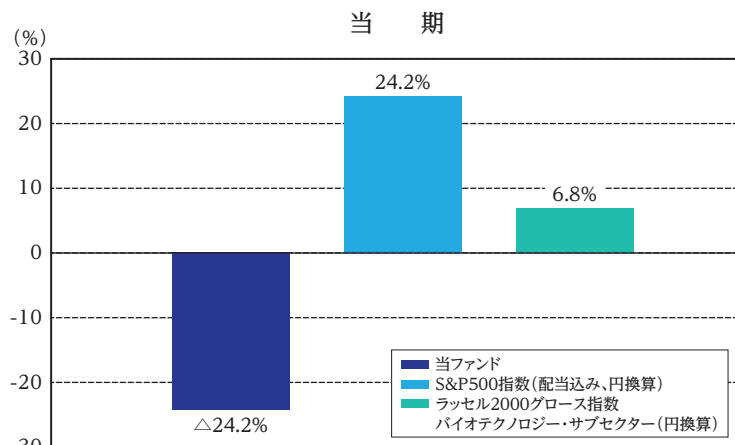
USバイオ・ベンチャー・マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

### ● USバイオ・ベンチャー・マザーファンド

当期は、遺伝性疾患の治療薬を開発するキャンパ4セラピューティクスのIPO(新規株式公開)に参加した他、開発中の医薬品に関する良好な臨床試験データを有し大手製薬会社からも強い関心が寄せられているジャナックス・セラピューティクス、強力な甲状腺眼症治療薬の臨床試験データや2025年下半年期の生物製剤ライセンス申請など豊富なカタリスト(株価を動かすきっかけとなるイベントや材料)を有するビリジアン・セラピューティクス等に新規投資を実施しています。他方、大手製薬会社により提示された買収価格にさや寄せする形で上昇した前述のアルパイン・イミューン・サイエンシズやモルフィック・ホールディング、肺MAC症(非結核性抗酸菌の一種であるMAC菌が肺に感染して起こる呼吸器疾患)治療薬「epetaborole」の十分な有効性を立証できず臨床試験の一時停止を発表したAN2セラピューティクス、カタリストの実現に暫くの時間を要すると判断したフェイト・セラピューティクスやアミカス・セラピューティクス等を全売却しました。最終的に、株式組入比率は前期末の99.0%から当期末は99.7%へ上昇し、組入銘柄数は同46銘柄から41銘柄へ減少しました。

## ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注)参考指数の詳細は最終ページの「参考指数に関して」をご参照ください。

## ■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、下記の通りとしました。尚、留保益につきましては、今後の運用方針に基づき運用を行います。

(単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項 目	当 期
	2024年2月10日～2025年2月10日
当 期 分 配 金 ( 対 基 準 価 額 比 率 )	0
当 期 の 収 益	—
当 期 の 収 益 以 外	—
翌 期 繰 越 分 配 対 象 額	7,609

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### ●当ファンド

USバイオ・ベンチャー・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用します。

### ●USバイオ・ベンチャー・マザーファンド

当期は、FRBの早期利下げ観測やバイオテクノロジー企業による株式市場での資金調達が高水準に達する等、投資家心理の好転や製薬業界の盛り上がりにより期待が膨らむ場面もありましたが、期後半に大統領選挙でのトランプ氏勝利を織り込む形で長期金利が上昇したことや、2024年12月のFOMCで発表されたタカ派的な政策金利見通しは金利感応度の高い小型バイオ株に逆風となりました。

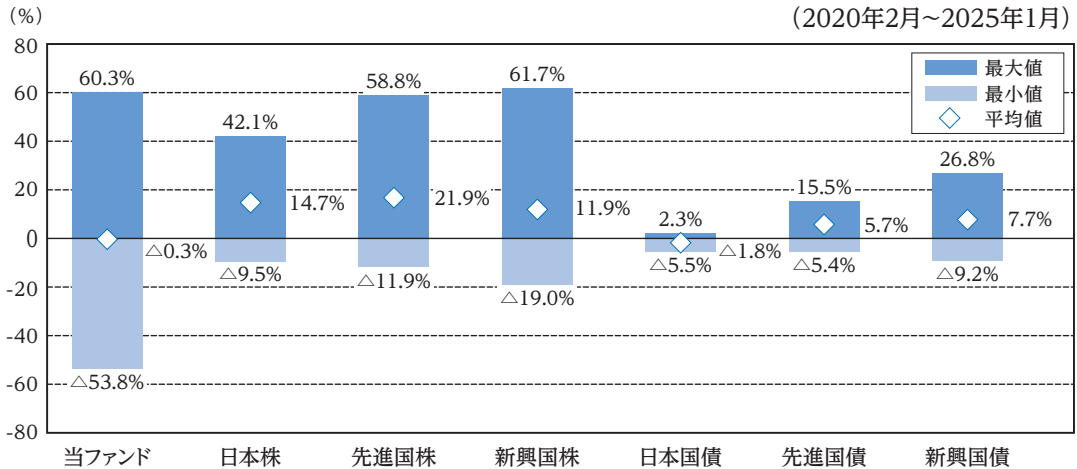
但し、今後はトランプ氏の規制緩和によりFDA(食品医薬品局)承認が迅速化する他、大手製薬会社の小型バイオ企業に対するM&Aが活況を呈すと予想されます。実際に、反トラスト法(独占禁止法)の順守状況を監視する独立機関のFTC(連邦取引委員会)では、委員長が規制推進派のリナ・カーン氏から慎重派のアンドリュー・ファーガソン氏に交代しました。また、2025年1月13日から16日にかけて実施された第43回J.P.モルガン・ヘルスケア・カンファレンス(1983年から毎年開催されているヘルスケア業界最大の投資家向けイベント)においても、初日から複数の大手製薬会社がM&A案件を公表しています。

当ファンドは、競合医薬品の有無や患者数、臨床試験の成功確度等から買収時に高水準のプレミアム(買収価格から時価総額を差し引いた金額)が期待できる有望な銘柄群にエクスポージャーを有することで、M&Aによる大幅な株価上昇を捕捉できるよう備えています。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年2月17日から2027年2月9日まで	
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	「USバイオ・ベンチャー・マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。) 受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	<p>① マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に高成長が見込まれる米国の金融商品取引所に上場されている中小型バイオ関連企業の株式(預託証券を含みます。以下同じ。)に投資します。</p> <p>② マザーファンドにおける運用指図に関する権限を、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。</p> <p>③ 実質組入外貨建て資産について、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④ 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>⑤ ただし、市況急変時の対応として、またはファンドの資金動向や投資環境等によって、上記のような運用ができない場合、もしくは運用者の判断で上記のような運用を行わない場合があります。</p>	
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産の投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>年1回の決算時(原則として2月9日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入および売買益(評価益を含みます。)の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p> <p>③ 留保益については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記は、過去5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- 決算日に対応した数値とは異なります。

○各資産クラスの指数

- 日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)
- 日本国債：NOMURA-BPI国債
- 先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債インデックス(除く日本)
- 新興国債：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します(TOPIX：株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社、MSCIコクサイ・インデックス及びMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、NOMURA-BPI国債：野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社、ブルームバーグ・グローバル国債インデックス(除く日本)：Bloomberg L.P.、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド：J.P. Morgan Securities LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

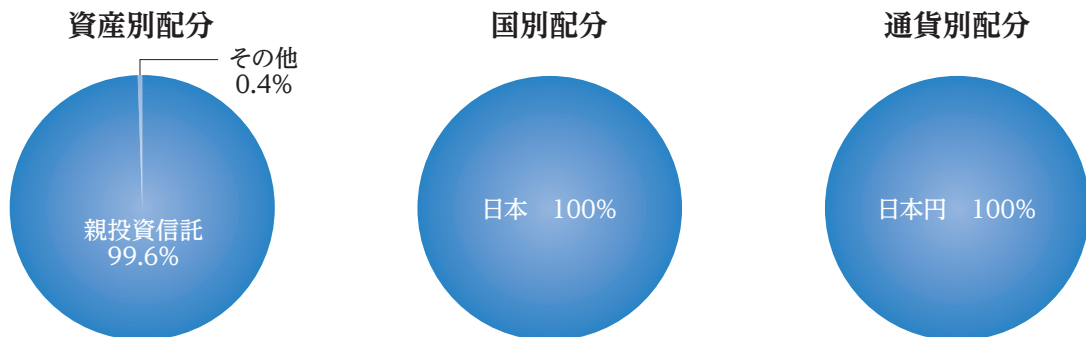
### ■ 組入資産の内容

#### 組入ファンド等

(組入銘柄数:1)

ファンド名	当期末 2025年2月10日
USバイオ・ベンチャー・マザーファンド	99.6%

(注) 比率は、当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注3) 国別配分は原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注4) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書(全体版)に記載しております。

### 純資産等

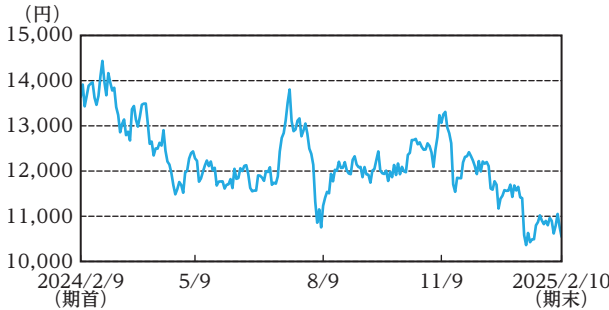
項 目	第8期末 2025年2月10日
純 資 産 総 額	735,280,633円
受 益 権 総 口 数	909,537,699口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	8,084円

(注) 当期中における追加設定元本額は0円、一部解約元本額は402,035,883円です。

(2025年2月10日現在)

■ 組入上位ファンド(銘柄)の内容

● USバイオ・ベンチャー・マザーファンド  
基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	27円 ( 27 )	0.221 % ( 0.221 )
(b) その他費用 ( 保 管 費 用 )	10 ( 10 )	0.083 ( 0.083 )
合 計	37	0.304

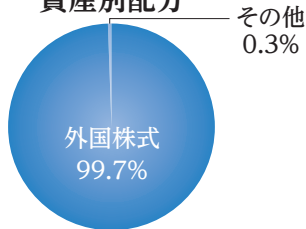
期中の平均基準価額は12,205円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

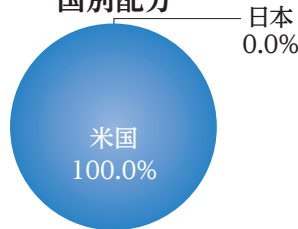
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	業 種	比 率
1	インスメッド	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.68%
2	バクサイト	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.67%
3	ディスク・メディシン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.15%
4	スプリングワークス・セラピューティクス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.57%
5	アペリス・ファーマシューティカルズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.33%
6	レポリューション・メディシンズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.90%
7	アーセルクス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.81%
8	クリネティックス・ファーマシューティカルズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.66%
9	アポジー・セラピューティクス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.50%
10	ブリッジバイオ・ファーマ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.26%
組入銘柄数		41銘柄	

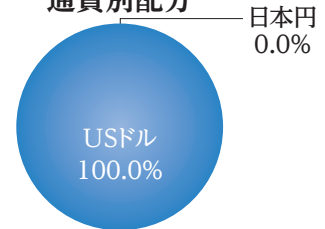
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年2月10日現在のものです。  
 (注2) 1万口当たりの費用明細は当該マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。  
 (注3) 資産別配分の外国株式には株式及び新株予約権証券が含まれております。  
 (注4) 国別配分は原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注5) 比率は当該マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。



## 参考指数に関して

### ラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)

ラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクターは、株価が1ドル以上であり、時価総額が3000万ドル以上の米国株であって浮動株比率が5%以下でない米国株の時価総額上位3000銘柄のうち、時価総額順位1001番目から3000番目の株式を対象としたラッセル2000指数の中で「薬剤の発見及び診断ツールの開発を目的とした、生物学的物質の研究・開発に携わる会社で、利益の大半をそれらの薬剤または診断ツールの販売またはライセンスにより得ている会社」であるバイオテクノロジー・サブセクターを対象とする銘柄のうち、株価純資産倍率及び予想成長値が相対的に高い銘柄により構成される指数。FTSEラッセル(ロンドン証券取引所グループ)が算出。

ラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクター(円換算)は、基準価額を算出する前営業日のラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクター(ドルベース)と基準価額算出日の為替レート(投信協会所定の対顧客直物電信売買相場仲値)を基に、ベイビュー・アセット・マネジメントが算出しております。

### S&P500指数(配当込み、円換算)

S&P500指数(配当込み)は、時価総額が最低61億ドル以上であり、浮動株比率が最低50%以上の米国株500種により構成され、1941年から1943年の平均を10として算出されたS&P 500種指数について、1988年1月4日以来の価格変化と再投資の配当を基に算出している指数。

S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービスLLCが算出。

S&P500指数(配当込み、円換算)は、基準価額を算出する前営業日のS&P500指数(配当込み、ドルベース)と基準価額算出日の為替レート(投信協会所定の対顧客直物電信売買相場仲値)を基に、ベイビュー・アセット・マネジメントが算出しております。

